

令和3年度からスタートした第5次清水町総合計画では、将来都市像である「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現に向け、まちづくりの取組方針の一つとして「まちなみみんなで取り組む「協働・協創」」を掲げています。

本チラシでは、積極的にまちづくり活動に取り組んでいただいている清水町協働まちづくり団体の活動紹介や、行政・町民・町民活動団体・企業が一体となって地域課題の解決に向けた協働のまちづくり活動の一部をご紹介します。

清水町協働まちづくり団体（認定団体）のご紹介

全国キッチンカー事業振興協会（令和3年度認定）



「全国キッチンカー事業振興協会」は、地域コミュニティ活動の活性化や地域防災活動、障がい者（児）支援などの社会貢献活動を目的に活動しています。

令和5年度は、町が主催する『湧水まつり』や社会福祉協議会が主催する『ふれあい広場』、地域のお祭りに出店させていただきました。

その他、協会独自でも定期的にキッチンカーで屋台村を演出する『エンネガーデン』を開催し、多くの方に楽しんでいただくなど、地域における賑わい創出を果たすことができました。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震は、石川県内に甚大な被害をもたらしました。

当協会では、地域防災活動の側面からも活動している団体であるため、被災された方々へ少しでもお力添えできるよう会員キッチンカーの窓口へ募金箱を設置しています。

引き続き、キッチンカーを利用した地域コミュニティ活動の活性化を図るだけでなく、町の防災活動にも協力していきます。

柿田こども食堂（令和3年度認定）



「柿田こども食堂」は毎月1回、第1土曜日に地元公民館で開催しています。

令和5年度は、新型コロナが「5類」に引き下げられたことから、食堂に訪れていただいた皆様が顔を合わせ、お話をしながら食事を楽しみました。

引き続き、一人でも多くの子どもが笑顔になれる居場所となるよう頑張っています。

【ご協力をお願いします】

「柿田こども食堂」は、皆様のご厚意に支えられ活動できています。昨年度も、企業や町民の方から食材を無償にて提供していただきました。引き続き、今年度も食材を無償提供していただける方や企業様がいらっしゃいましたら、こども未来課子育て支援係（055-981-8215）までご連絡ください。

おはなしクック(令和3年度認定)



「おはなしクック」は、読み聞かせを中心におはなしが大好きな子どもたちと楽しい時間を共有し、優れた絵本との出会いをつなぐ活動を続けています。

令和5年度は、主に町内の幼稚園・保育所(園)・小学校・中学校の他、図書館やこども交流館において、定期的におはなし会を開催し、多くの子どもたちに生の声でおはなしを届けることが出来ました。

今後も、町の子どもたちが素敵な本に出会えるよう活動していきます。

【読み聞かせボランティア募集】

おはなしクックでは、今後も、子どもたちに絵本や紙芝居の楽しさを届けられるボランティアスタッフを募集しています。読み聞かせが初めてという方もスタッフがフォローしますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先:土屋(080-1612-7720)、鈴木(090-7307-1634)

清水町手話サークル あゆの会(令和3年度認定)



清水町手話サークル「あゆの会」は、手話の学習・普及と聴覚障害者と健聴者の相互理解と交流を図ることを目的に、毎週火曜日、午後7時30分から清水町福祉センターで活動を行っています。

手話の普及を目的に令和5年度も開催した夏休み小学生福祉体験手話講座では、小学生とその保護者約70人が参加し、障害がみえにくいことから、【ろう者の生活を理解する】をテーマに、生活の中で様々な問題があることを学習しました。

聴覚障害者と健聴者とのコミュニケーション方法は手話、口語、筆談、身ぶり、空書がありますが、早く正確に伝えられるのは手話です。

清水町においても、令和6年4月1日に手話言語条例が制定されました。引き続き、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向け、これからも活動を行っていきます。

DCP(ドリームチアパーティー)(令和4年度認定)



「DCP(ドリームチアパーティー)」は、女性が精神的にも経済的にも自立し、地域社会において幸せで豊かに活躍できる環境づくりをすることを目的に活動しています。

令和5年度は、おうちサロンの経営を長く続けてきた秘訣を交えながら、子育てや社会復帰などライフスタイルの変化する女性を支援するため、また、起業の悩みを抱える方の一歩を踏み出す支援をするため、無料でおうちサロンの相談窓口を設置しました。その他、町内で開催される各種イベント会場でも相談窓口を設置しました。

引き続き、起業を考えている女性を応援するセミナー等を開催していきます。

令和5年度 新たに認定された団体

あなたらしく生きるまちづくりの会



ホームページ



【代表者】

大澤 豊

【設立年月日】

2021年8月29日

【活動目的】

妊産婦の孤独とメンタル不調、子どもの人権軽視の解決を目的に活動しています。

【活動内容】

「あなたらしく生きるまちづくりの会」は、これから誕生するかけがえない命を、地域みんなで優しく、そして、温かく迎える「まちづくり」を行うコミュニティ団体です。

主な活動内容は、妊娠34週以降から産後4ヶ月までの方に対し、無農薬野菜やサンドウィッチの配達を行い、地域の先輩ママ等（配達員）とのつながりをつくる他、妊産婦や家族の相談内容により連携先（役場・助産師・保育士等）との架け橋となる活動をしています。

【ご利用・お申込みの流れ】 ※初回、登録料が発生します。

詳しくは当会のHPをご覧ください。

【ご協力をお願いします】

私たち団体は、多くの会員様や企業様のおかげで妊産婦さんとのつながり、妊娠から産後、その先まで切れ目のない支援の実現に向けて活動ができています。

引き続き、本会の活動をご支援して下さる個人様、企業様を募集しています。詳しくは当会HPをご覧ください。

まちづくり団体を探しています

町では、積極的にまちづくり活動に取り組んでいる団体を町が協働まちづくり団体として認定し、団体の活動や功績を広報やホームページで広く町民に発信することで、更なる団体の活動意欲の向上、また、団体への新たな町民の参加や団体同士のネットワークの構築を図っています。

既にそういった団体に参加し活動している方、または、そのようなまちづくり活動団体をご存じでしたら、お手数ですが、産業観光課 協働まちづくり係までご連絡ください。

ぜひ、一緒に清水町を盛り上げましょう！

本チラシに関するお問い合わせ先

清水町堂庭210番地の1 清水町役場2階 産業観光課 協働まちづくり係
☎ 055-981-8238

協働事業のご紹介

「ゆうすいしばふあそび」イベントの開催

令和5年11月12日、柿田川公園にて開催した「ゆうすいしばふあそび」は、まちづくりに関心を持つ町民の方や町内外の企業、また、町内などで活躍している町民活動団体や町とパートナーシップ協定を締結している企業が「Reborn City SHIMIZU」という任意団体を設立し、町と一緒に実施したイベントです。

本イベントは、町が柿田川公園の芝生を再整備することを決めた2年前から、町内外の人にもっと柿田川公園に愛着をもってもらうにはどのようにしたらよいか？もっと公園に遊びに来てもらうにはどのようにしたらよいか？ということ Reborn City のメンバーが色々と考え、町と一緒に開催しました。ここでは、「ゆうすいしばふあそび」イベントを開催するまでの間、Reborn City のメンバーが行ってきた活動や当日のイベントの様子をご紹介します。

柿田川公園に植栽するための芝生のポット苗を作りに行きました！（令和5年4月9日）

6月に開催する柿田川公園芝生植栽作業に向け、Reborn City のメンバーでポット苗作りに参加してきました。



柿田川公園に芝生を植栽しました！（令和5年6月18日）

柿田川公園内芝生広場、管理道路北側部分（令和4年度は南側部分に芝生を植栽）に芝生の植栽を行いました。

当日は、町民の方や地元中学生など約140人が参加し、Reborn City のメンバーも植栽作業を行いました。



イベント開催に向けたスタッフミーティングを開催しました！（随時）

来場者及び運営スタッフみんなが楽しめるイベントの開催に向け、毎月1回程度、Reborn City のメンバーが集まり、イベント内容の企画や当日の運営方法などについてミーティングを開催しました。



「ゆうすいしばふあそび」イベントを開催しました！

Reborn City のメンバーの想いが形になったイベント、「ゆうすいしばふあそび」を柿田川公園で開催しました。芝生広場では読み聞かせや親子体操、脳トレ体操、ヨガなどいくつかのイベントを実施したほか、廃材を利用したアートワークショップの作品展示を行い、公園の北側にはキッチンカーやフード店、物販ブース10店舗が出店し、約1,200の方が、生まれ変わった芝生の柿田川公園で様々なイベントを楽しみました。



本イベントは、来場された方だけでなく、運営スタッフも一緒に楽しむこと、そして「芝生と自然を五感で感じて楽しんで欲しい！」ということを目的に開催しました。張り替えられた芝生の上にたくさんの子供たちの笑顔が溢れ、とても楽しい1日となりました。